

## 大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結



協定を締結する平内秀司支店長(左)と菊池市長

12月23日、大塚製薬株式会社と市は、地域の一層の活性化および市民サービスの向上を目的とした包括連携協定を締結しました。

この協定は、健康の維持・増進、スポーツの振興、食育の推進、女性の活躍、災害対策について市と大塚製薬(株)が連携・協力するもので、1月26日、2月2日には、市内の施設で従事する介護支援専門員を対象に、高齢者の生活において押さえておくべき症状や留意点をテーマとしたオンライン研修を開催する予定です。

締結式に出席した平内秀司・大塚製薬株式会社大宮支店支店長は、「教育、スポーツ、災害対策など幅広く協働してまいります」と話しました。

## 表敬訪問 日本一おいしい米コンテスト優良金賞受賞、茨城県技能者表彰、農林水産大臣賞の報告がありました



小林稔さん(左)と菊池市長

米生産者：小林 稔さん

山形県庄内町主催の「第14回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町」の決勝大会において、小林稔さん(高道祖地区)の「ミルキーQueen」が「プレミアム部門 優良金賞」を受賞しました。小林さんは、茨城県産米輸出推進協議会会長、高道祖生産組合長として活躍しています。



植野智恵さん(左)と菊池市長

本場結城紬：植野 智恵さん

茨城県技能者表彰は、県内の第一人者と目されるなど、極めて優れた技能を有すると認められる技能者を表彰するものです。植野さんは、長年本場結城紬の製造技術などの経験を積み、昨年1月に茨城県伝統工芸士の認定を受けました。これに続き今回の表彰となりました。



左から塚本治男JA常総ひかり代表理事組合長、菊池市長、大塚武雄下妻市果樹組合連合会会長

下妻市果樹組合連合会  
第59回農林水産祭において、下妻市果樹組合連合会が「農林水産大臣賞」を受賞しました。同連合会は、第49回日本農業賞において集団組織の部「大賞」を受賞したことを受け、第59回農林水産祭にエントリーし、「農林水産大臣賞」を受賞しました。また、同日、明治神宮で開催された新嘗祭に下妻産「恵水」を献上梨として奉納しました。

## 専門家が連携して空き家の課題に取り組む

全国空き家アドバイザー協議会茨城県下妻支部の設立総会が、千代川公民館で開催されました。全国的な人口減少と少子高齢化に伴い、今後、空き家が増えていくことが予想され、本市も例外ではありません。

空き家の問題は地域の課題です。空き家の解決には、空き家の現状を把握し活用可能・不可能の判断から売却・賃貸・解体の判断をするという主な流れとなります。この協議会は、相続・片付けなどの課題から建物の修理・修繕・解体・登記までの専門家が連携することで、円滑に空き家の課題を解決することを目的としています。

今後は、市をはじめ関係機関と連携しながら、空き家問題の解決に努めていきます。



空き家問題の解決へ専門家が連携します

## 茨城の近代化の立役者の功績を学ぶ

飯村丈三郎シンポジウム2020開催 12月5日



参加者は飯村丈三郎の業績について理解を深めました

飯村丈三郎シンポジウム2020が、下妻市立図書館で開催されました。

飯村丈三郎は、現在の黒駒地区に生まれ、第六十二国立銀行(現在の常陽銀行)の再建や水戸鉄道の開業に携わり、茨城県議会議長や衆議院議員を務めました。また、岡倉天心ら芸術家への支援など、政治・鉄道・金融・芸術・文化・教育・経済という幅広い分野で才能を発揮し、茨城県の近代化に貢献しました。

当日は、茨城地方史研究会会長の久信田喜一氏と茨城大学名誉教授の小泉晋弥氏の講演があり、参加した川面圭司さんは、「下妻市民として誇らしく感じました。飯村丈三郎という人物を多くの人に知ってもらいたいです」と話しました。

## オレンジカフェinイオンモール下妻 開催



介護者自身も健康を維持することが大切です

12月10日、イオンモール下妻および認知症ともに学び会もつまの協力により、認知症カフェ『オレンジカフェ』を開催しました。認知症カフェは、物忘れが気になる方や認知症の方、そのご家族、地域の方が気軽に参加できる交流の場です。

会場で初めて認知症カフェを知り参加された方が多く、認知症チェックやおしゃべり、個別相談などを自由に参加し交流を深めました。初めて参加した方の一人は、「このような気軽に参加できる場があることを知り、とても心強く感じました」と話していました。

有料広告欄

有料広告欄